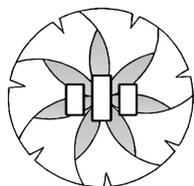


七小つうしん

学校通信 第6号
令和3年10月1日
東久留米市立第七小学校
校長 伊藤幸一
TEL 042(471)0114

*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school01.jp/~dai7-e/>



『教育目標』

- ◇ かしこく
- ◇ やさしく
- ◇ たくましく

守・破・離

主幹教諭 菅原 康人

先般行われた、東京オリンピック 2020 では、日本の武道、空手道が競技種目の1つとなり、形競技では、喜友名諒選手が、素晴らしい演武で見事優勝しました。ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。私は、小学5年生から空手道を学び始めました。当時の夢であった、警察官になるために強い心と強い身体が必要だと思ったからです。途中、お休みした時期もありますが、現在も続いていて修行歴は36年ほどになります。空手道は、「道」という文字がつくように、その稽古は、地道な基本動作、基礎・基本の繰り返しです。入門したての人も、長年続けている有段者でも、やる基本動作に変わりはありません。もちろん、学ぶ技術はより高度なものになってきますが、喜友名諒選手の優勝も、その基礎・基本と、365日休まぬ稽古という努力があったからこそのものであります。

さて、「守・破・離（しゅ・は・り）」という言葉をご存じでしょうか。日本の茶道や武道などの修行における段階を示したものです。簡単に説明すると、以下のようになります。

「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身に付ける段階。

「破」は、他に師や流派の教えについても考え、良いものを取り入れ、心と技を発展させる段階。

「離」は、1つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階。

この3つの段階は、師と弟子の関係のあり方です。学校教育に置き換えてみれば、先生と子供たちとの関係であり、小学校の子供たちは、「守」の段階と言えます。これから中学、高校と広く、大きな社会に出ていくための基礎・基本をしっかりと身に付ける段階です。私たちは、子供たちに、「当たり前」のことを、当たり前にしていく人に成長して欲しいと願っています。きまりや約束を守ること、自分を律し友達を大切にすること、それらを日々の生活、遊び、学習を通して、人と人が関わり合う活動を通して学んでいくことが、基礎・基本といえるでしょう。基礎・基本である、「守」がしっかり身に付いていなければ「破」や「離」に取り組もうとしても、なかなかうまくはいきません。確かに現在、身の回りのことは、携帯アプリを使えば、先生が居なくても教えてもらえ、事足りることもあります。しかし、人としての成長には、関わり合い、直接、対話することが大切です。人生の中で、最初の基礎・基本である「守」に、どれくらいの年月を費やすかは、人それぞれであるかもしれません。しかし、「守」をどのように身に付けるかで、次の段階の「破」「離」がどうなっていくのか、その方向が決まっていくのではないのでしょうか。第七小学校では、「当たり前」のことを、当たり前にしていく人に6年間かけて、それぞれの学年や発達段階に応じて指導をすすめていきたいと考えています。

☆☆☆道徳☆☆☆

9月18日（土）は道徳授業地区公開講座ということで、どの学年でも道徳の授業を行いました。1年生は「あしたはえんそく」という教材で公平、公正について、2年生は「なかよしだけど」という教材で礼儀について、3年生は「みんながくらしやすい町」という教材で親切・思いやりについて、4年生は「雨のバスのていりゅう所」という教材で規則の尊重について、5・6年生は「手品師」という教材で正直・誠実について、道徳的価値の理解を深めていきました。

低学年の授業では、自分だったらどうするだろうと想像したり、どうすればよかったのかを考えたりすることでねらいとする価値に迫っていきました。中学年では、道徳的価値のある行動の大切さについて話し合う場面を設定することで、考えを広げていきました。高学年では、葛藤する手品師の心情を読み取りながら、誠実さの本質について考えを深めていきました。

どの学年、学級でも自分の考えを積極的に発表したり、ワークシートに書いたりするなど、意欲をもって学習に取り組む姿が見られました。

☆☆☆夏休み作品展☆☆☆

9月2日、3日に夏休み作品展を行いました。子供たちが夏休み中に家庭で取り組んだ研究や工作などの作品を教室に展示し、同じ学年の友達同士で見学しました。たくさんの工夫が詰まった作品を見て、子供たちからは「これすごいよ！」「おもしろい！」などの声が聞こえ、興味津々な様子でした。

今年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されたこともあり、選手やメダル、ピクトグラムなどについてまとめた作品もありました。

また、高学年になると、理科や社会などの学校で学習したことを発展させて自由研究に取り組んだ様子が見られました。子供たちの夏休みの成果がたくさん見られる楽しい作品展となりました。



10月の生活目標

友達に親切にしよう

2学期が始まり、1か月が経ちました。10月の生活目標は「友だちに親切にしよう」です。相手が優しい気持ちになる言葉や相手の気持ちを温める言葉、相手のやる気を引き出す言葉などの言葉がけができる七小の子供たちでいてほしいものです。友達と協力しながら一日一日を過ごしたり、落ち着いて学校生活を送ったりすることができるように、友達のことを大切にしていけることを生活目標にしました。

友達と仲良くしていくためには、相手の気持ちを考え、行動することが大切です。日常生活や、道徳の授業などを通して、指導していきます。

☆☆☆2年生の様子☆☆☆

図画工作科「ひみつのたまご」では、クレヨンと絵の具を使って上手な作品を作りました。たまごをわってみると…？ 恐竜が出てきたり、お花が溢れたり、花火が打ち上がったりと、発想の豊かさに驚きです。細かい作業にも集中力が途切れることなく、熱心に取り組むことができました。

また2年生でも、タブレットを活用した学習が本格的に始まってきました。国語科「ことばあそびをしよう」では、それぞれが作ったあいうえお作文を写真に撮って、タブレット上で全体の作品を閲覧しあいました。他にも、体育科「マット運動」でも、タブレットにある追っかけ再生の機能を活用して、自分の動きを客観的に捉えることができました。なかなか見ることのできない自分の姿に子どもたち自身も驚きながら、より上手にころがるためにはどうすればよいか、一生懸命考えながら活動していました。



☆☆☆あすなろ教室☆☆☆

今年度6年目を迎えたあすなろ教室です。拠点校である七小（月・水・※金曜日）をはじめ、十小（火・木曜日）、本村小（金曜日）へ巡回し、指導を行っています。また、特別支援教室専門員1名が、月～水、金曜日に校内での連絡や調整をしています。※金曜日のみ七小4名、本村小3名が巡回しています。

決められた時間に、在籍学級からあすなろ教室に移動して、それぞれのお子さんに合った学習を行っています。

○あすなろ教室の指導の柱

1. 集団への参加の仕方を指導します。
2. 自分の気持ちや考えを言葉で表現し、相談できるようにします。
3. 自己肯定感（自分を好きになる気持ち）をもたせるようにします。



○個別学習や小集団活動を通して

- ・友達との関わり方や、その場に応じた言葉のやり取りや生活に役立つルール等を学びます。
- ・体育館などで体を動かして体のバランスを整えたり、友達と一緒にルールを守って活動する楽しさを学んだりします。
- ・自分に合った学習方法について学びます。

どのお子さんも、目標に向かって意欲的に取り組んでいます。また、教育相談も行っておりますので、いつでもお気軽にご相談ください。

《10月の行事予定》

月	火	水	木	金	土
				1 ◎ ロング昼休み 委員会	2
4 全校朝会 4時間授業	5 ☆ バス会社見学 (2)	6 安全指導 漢字検定	7 音楽集会 生活科見学(1)	8 ◎ クラブ	9
11 全校朝会	12 ☆ 校外学習(3) 校外学習(し)	13 ◎ 4時間授業	14 ◎	15 ◎ クラブ	16 学校一斉公開 4時間授業 給食なし
18 全校朝会	19 ☆ 社会科見学 (4)	20 ◎	21 ◎ 校外学習(3)	22 ◎	23
オルタナティブ榛名(6)					
25 全校朝会 5時間授業	26 ☆ 個人面談①	27 ◎ 個人面談②	28 児童集会 個人面談③ 避難訓練	29 ◎ 交通教室(3) クラブ	30

SC : スクールカウンセラー来校 ◎ : 朝学習 ☆ : 朝読書 () : 学年

○学校一斉公開日について

10月16日は土曜授業(給食なし)となり、8時30分から授業が始まります(土曜時程)。詳細については、別紙「第一回学校公開のご案内」をご覧ください。

○漢字検定について

6日(水)に、今年度2回目の漢字検定があります。目標にむかって取り組めるように、声をかけてみんなで頑張っていきます。